

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2771
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)再生水利用下水道整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	貴重な水資源の有効利用を図り、水の循環利用を推進するため、再生水利用下水道の整備を行う。昭和62年度から「下水処理水循環利用モデル事業」として事業を行い、平成6年4月より周辺公共施設等へ雑用水の供給を開始した。平成6年の大湯水を契機に、8年度に「再生水下水道事業」として国の事業採択を受け、13年4月にサンポート高松への再生水の供給を開始した。また、13年3月には、サンポート高松に南接する中心市街地（北側）1.45ha、17年3月には新たに瓦町地区4.4haについて計画区域拡大の事業認可を受け、30年3月現在、64施設（旧牟礼町6施設含む）に供給している。
-------	--

30年度概要

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	----------	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	再生水利用下水道事業計画区域
意図（どのような状態にしたいか）	再生水を利用する施設数の増加により、貴重な水資源の有効利用を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
単年度送水管布設延長	m		0	0	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	再生水利用施設数	施設数	目標値		62	62	64	64
			実績値		62	64		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 再生水利用促進に努めることにより、水の循環利用と節水の推進を図る。 (目標達成度)			(達成度) 103.2% 35点				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,113	12,970	7,964	7,964
（事業費）	[円]		4,968	0	
（職員人件費）	[円]	8,113	8,002	7,964	7,964

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成29年度は、新たに2施設に供給を開始し、供給先は、中心市街地の49施設、下水道処理水循環モデル事業の9施設、旧牟礼町の6施設を合わせ、全体で64施設となっている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業仕分けの判定結果や議会の所管事務調査の意見などを踏まえ、現供給区域内において、大口利用者などの利用者の拡大を図ることにより、既存施設の有効活用を図る。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	水環境対策室
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2142
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	我が家の水がめづくり事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	「水を賢く使うまち」の実現を目指すため、節水キャラクター「タメット」を活用した節水に関する事業や啓発活動などを「我が家の水がめづくり」と称し、国の定める水道週間や水の週間に合わせたイベントや巧水キャンペーンの実施、ホームページなどの広告媒体の活用による節水意識の啓発、家庭等における節水型ライフスタイル普及策などに取組む。
-------	---

30年度概要	氷源地域交流物産市開催 巧水スタイル推進チーム参加 水環境学習会開催
--------	--

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	水の使用量に関心を持つことにより、節水を含めた水の有効利用の意識向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
水道週間関連イベントの開催回数	回		1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	1人1日当たりの水道水平均使用量	L	目標値		300	300	300	300
			実績値		302	303		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 効果的な広報などにより、目標が概ね達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 99.0% 34点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	2,586	1,827	867	1,039
（事業費）	[円]	283	257	108	280
（職員人件費）	[円]	2,303	1,570	759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

香川県や上下水道局と連携し事業の推進を図った。今後、更に関係機関との連携を深めることで、事業効果を高める必要がある。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成30年度より、水道事業は広域水道企業団に移行となることから、より一層の連携を図り、事業効果の向上に努める。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道経営課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2720
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 雨水利用施設整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	雨水貯留タンク等の設置整備に対して補助金を交付し、雨水タンク等の普及促進を図ることにより、水の循環利用を推進する。				
-------	---	--	--	--	--

30年度概要	小規模タンク	120基	補助額	3,600千円
	中規模タンク	3基	補助額	3,000千円
	浄化槽転用	53基	補助額	6,360千円
	浸透施設	3件	補助額	123千円
	需用費等			189千円
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)	


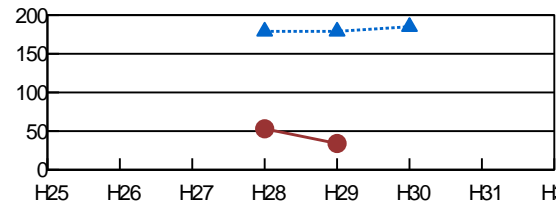
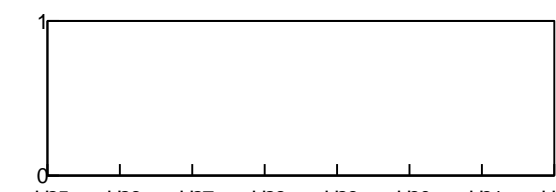
【事業の目的】

対象(何を)	高松市民等
意図(どのような状態にしたいか)	高松市全域における、水の循環利用の促進と雨水の流出抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
補助金交付件数	件		53	34	185	203

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	雨水貯留タンク等設置整備基数	基	目標値		179	179	185	203
			実績値		53	34		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成29年度は、下水道整備区域が拡充されなかったことから、既存の浄化槽の転換されず小規模タンク27基、浄化槽転用7基の34基で、目標件数に対して2割程度の実績にとどまっている。今後更なる普及促進の必要がある。 	(目標達成度)					(達成度) 19.0% 6点	
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)					(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	11,836	10,786	9,684	21,236
(事業費)	[千円]	3,723	2,784	1,720	13,272
(職員人件費)	[千円]	8,113	8,002	7,964	7,964

【評価】

評価ランク(A~D)	D	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

小規模タンク27基、浄化槽転用7基であり、平成28年度に比べて大幅に減少した。その要因としては下水道整備区域が大きくは拡大されなかったことから、今後においても、市民の水の循環利用等の意識は高いものの減少傾向になると予測できることから、さらなる普及向上に努める必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

雨水利用助成制度をより多くの市民に周知するため、広報・ホームページ等で啓発することはもとより、市内に所在地がある事業所等に広報活動を行うなど利用促進や啓発を図る。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	H29企業総務課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2711
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)水の有効利用促進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

厚生労働省では、国民の水道に対する理解を深め、健全な発展を図るため、毎年6月1日から6月7日までの1週間を「水道週間」として定め、全国一斉に各種関連事業が開催される。本市上下水道局においても、市民から信頼される上下水道事業を目指し、上下水道に対する市民の理解を高め、さらには水資源の大切さに対する意識啓発を図るため、各種広報媒体を通じての上下水道事業のPR、瓦町FLAG8階IKODE瓦町での水とわたしたち展や上下水道展、国の登録有形文化財である水道資料館でのコンサートをはじめとする「水道週間」関連事業を実施している。

30年度概要 「水とわたしたち展」、「上下水道展」、「施設見学会」など、水道週間関連行事

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------


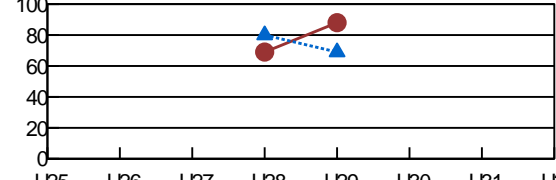

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	水道に対する市民の理解を高め、水資源の大切さに対する意識啓発を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
実施事業参加者数	事業		2,423	1,194		

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
水道事業関連行事に対する満足度	%	目標値		80%	69%		
		実績値		69%	88%		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 水道資料館が改修工事のため、夕ぐれコンサートが開催できなかったため、アンケート調査数が減少したが、上下水道展等でアンケート回答の88%が「たいへん満足」、「ある程度満足」であった。 		(目標達成度)					(達成度) 127.5% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	13,579	13,241	12,268	13,339
（事業費）	[円]	1,409	1,238	322	1,336
（職員人件費）	[円]	12,170	12,003	11,946	12,003

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

水道資料館の改修のため夕ぐれコンサートは開催できなかった。30年度中に工事が終了し、再開館に合わせた行事を実施するが、費用対効果を考慮した内容とする検討が必要。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

企業団として水道週間への取り組み方を決定していく中、幅広い年齢層の市民に対して、水資源の大切さに対する意識啓発を図るため、市民に親しまれるイベント内容となるよう、更に事業内容の改善に取り組んでいく。